



ふくろう通心



第3回市民ボランティア交流まつり



2月16日(日) ヒロロスクエアにて開催

弘前学院大学吹奏楽サークルの演奏で始まった各団体の発表。「ルパン三世」や「学園天国」のリズミカルな演奏が会場を盛り上げ、次々と各団体が発表しました。他にも展示、体験コーナー、お菓子やパンの販売コーナーがあり、足を運んだ人々も楽しんでいました。私自身も体験コーナーのしおり作りで自分らしい出来栄えにうれしく思い、また、普段飲んでいる煎茶をきちんとした作法でいただくことで凛とした気持ちになり、満足のいくひとときを過ごすことができました。

行政書士会の“終活、エンディングノート”の話に耳を傾ける年配の方や、あっという間にアンパンマンやバイキンマンに変身するバルーンアートに釘づけになる子どもたち。ボランティアに興味を持つ学生も多く、参加者全員で、「つながろう！ここから生まれる 地域のきずな」をテーマとして作り上げた会場は、寒い冬に温かな雰囲気漂った一日となりました。

ボランティアスタッフ 小山



交流まつりで発表に参加していただいた「おはなしるんるん」の活動を紹介します。

おはなし運んで



おはなしるんるんは、平成6年に絵本と子どもが好きなメンバーが集まってスタートしました。初めは好きな絵本やおはなしの紹介、情報交換をしていましたが、そのうち小学校や保育園、学童保育、公民館等でおはなし会をするようになりました。都合のつくメンバーが出かけておはなし会をしています。メンバーは30代から80代まで、家庭の主婦、現役の教師、退職した教師とさまざま、現在17名です。

10年ほど前から大人数で、大型のペープサート(紙人形)などを使っておはなしをするようになりました。練習はメンバーそれぞれ忙しい中大変ですが、練習もまた楽しい時間です。

今年度は図書館をはじめ、小学校などで24回の実演をしました。絵や人形なども全部メンバーの手作りですので、行く先々で感心されたり、驚かれたり。自分で作ってなくてもうれしい言葉です。もちろん、大人数で語るおはなしに参加できないメンバーも少人数での依頼のおはなし会に出かけますし、定例会で情報を交換しています。

家庭や仕事の事情で参加できない時は無理をしないというのが長続きのコツかもしれません。参加できなくても絵本が好き、子どもが好きというところで繋がっているメンバーですから。

大変な時でも、おはなしを聴いている子ども達のキラキラした目を見ると、やっぱりやっていて良かったと思います。

これからもおはなしるんるんは無理せず、“るんるん”と楽しみながらおはなしを届けていきたいと思います。



おはなしるんるん 齋藤真琴



除雪ボランティアを行って

今年も除雪の季節がやってきました。僕たちは弘前市や弘前市民にはいつもお世話になっており、弘前大学と弘前市で行っている岩手県の野田村での被災地支援活動では、みなさんの協力のおかげでとても有意義なものとなっています。それに対する恩返しの気持ちと小学生に安全に通学してほしいという気持ちで、今年も弘前大学ボランティアセンターでは、市民と協力して除雪の活動を行いました。

時には重い雪があって大変なこともありましたが、たくさんあった歩道の雪を2時間ほどできれいに片付けると、すっきりした気持ちになり、市民の方に、「ありがとう」と言われると、頑張ってたかったと感じました。

力作業ではありましたが、弘前市や弘前市民の力になれていると考えると、とてもやりがいのある活動でした。また、活動の中では、集まっていたボランティアの皆さんのパワーがすごく、流雪溝が詰まりそうになるくらい雪を入れることもありました。

僕は今年の3月で弘前大学を卒業し、この活動に参加できなくなりますが、その分後輩たちに頑張ってもらいたいと思います。就職で弘前を離れますが何らかの形で、活動にはかかわりたいと思っています。弘前大学ボランティアセンター 理工学部地球環境学科四年 出張 智仁



もうすぐ春 自転車は安全に乗りましょう

昨年雪が降り積もる前の12月1日、自転車で、つい右側を走行中、「今日から**ルール改正**になったの知ってる？自転車は**右側走っちゃダメ**なんだよ」と警察官に注意を受け、「**通行可能な歩道等以外は、原則左側通行で走行**してください」とのことでした。

そこで、春になると自転車に乗る機会も増えるため弘前警察署交通第一課の方にお話を聞いてみました。



：特に守ってほしい点として：

- ・夜間のライトの点灯 <自動車側から見ると、無灯火の自転車は直前まで視界に入りづらく非常に危険>
- ・携帯電話やヘッドホンの使用、傘さしなど “ながら運転” はルール違反！
- ・交差点での一時停止、安全確認

首都圏では自転車の事故が増えてきていると言います。今まではルールについてあまり気にとめていなかった人も、この機会に、一人ひとりがルールを守ることによって自分の、そして他の人の身の安全を守ることができることを意識して、お互い譲り合いの気持ちを持って自転車に乗っていただきたいと取材をして思いました。



豆知識

トチの実で作る昔から伝わる万能薬

材料は、35度焼酎1L、トチの実500g、ホオズキ20個、野ぶどう両手盛り、ヘンルーダ※の葉ひとつかみです。

トチの実を砕き、材料を焼酎につけ5か月程度で完成です。肩や膝関節の痛み、筋肉痛、打撲、虫刺されや腫れ、かゆみ、湿疹、あせも、切り傷等色々効果があるといわれています。(直接又はガーゼに浸し湿布して使用、個人差に要注意)

打ち身とかに効果があり、自分でも愛用しています。やけどに効くという人もいます。

※ヘンルーダ・・・ミカン科で独特の強い香りがあり『ネコヨラズ』とも言われ、玄関の花壇に植えている家庭もあります。加えることにより、効き目もさることながら、高級ウイスキーのような出来上がりとなります。 Y・S



編集後記



2月初旬、20年ぶりくらいにつらいと感じる風邪をひいてしまった。ピークが土日だったので病院には行かなかったが、症状からいってインフルエンザだったかも知れない。私を案じてくれて「何なりとお申しつけあれ」と趣味のサークル仲間からのメール。このひと言はどんな薬よりも効果があり症状が和らいだ気がした。

改めて“仲間の大切さ”“言葉の大切さ”そして思いやりを感じ胸が熱くなる思いをした冬だった。 O.Y

<製作>市民ボランティアスタッフ<製作協力>弘前市ボランティア支援センター
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内
TEL:38-5595 FAX:36-1822
HP: <http://www.hi-it/~vsc>

情報紙についての意見・感想をお待ちしております。